

そうじゃ 新型コロナワクチンプロジェクト【概要】

～ 本日のキックオフ・ミーティングにてプロジェクトを本格的にスタート ～

1. 基本方針

- 希望する総社市民が、迅速・安全に接種できる仕組みを構築
- 総社市民に対する正確な情報発信
- 関係者・関係機関のご協力をいただきながら“オール総社”で団結して準備を推進

2. 組織・連携

- 12/22
- ① 総社市役所の新型コロナ対策室に、新たに「新型コロナワクチン対策チーム」を組織
 - ・ 新たなチームの体制：8名（事務職員4名、保健師職員4名）
(参考) 新型コロナ対策室の全体は13名
 - ② 「総社市新型コロナワクチン連絡会議」を初開催 12/22
 - ・ 吉備医師会（会長はじめ5名の先生方が中心メンバー）のほか、介護・障がい福祉・事業者・学校の関係者、地域の関係者の皆様との連携体制を構築
 - ・ 国内のワクチン開発のトップランナーである総社市出身の森下竜一先生（大阪大学大学院寄附講座教授）のご助言もいただきながら推進

3. ワクチンの種類や有効性・安全性

- **種類**
 - ・ 国内外で開発・生産が進むなか、国はまず海外の3社と契約締結、基本合意。
 - ・ 総社市でも、まずはこの3社のワクチンを想定しつつ、具体的な準備を開始。
- **有効性・安全性**
 - ・ 国は今後、基準を踏まえ有効性・安全性が認められるワクチンを承認していく方向。
総社市では、こうした情報を総社市民へわかりやすく伝えていく。
 - ・ なお、予防接種（ワクチン）の副反応・副作用を完全にゼロにすることは困難なため、接種場所でのアレルギー反応等の処置にできる限り対応するとともに、副作用に対する相談や国の健康被害救済制度の説明も丁寧に進めていく。

【参考】

○海外のメーカー

	ファイザー社 (米国)	アストラゼネカ社 (英国)	武田/モデルナ社 (米国)
規模	1.2億回分	1.2億回分	5,000万回分
接種回数	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (28日間隔)
保管温度	-75℃	2～8℃	-20℃
日本政府の対応	ワクチン審査中 (基本合意済み)	(正式契約済み)	(正式契約済み)

○国内のメーカー

	アンジェス 大阪大学	塩野義製薬	KMバイオ ロジクス	第一三共	ID ファーマ
種類	DNAワクチン	組み換えタンパク質ワクチン	不活性化ワクチン	mRNAワクチン	ウイルスベクターワクチン
進捗	治験中	治験開始			

4. 優先順位・スケジュール

⇒3月下旬までに、
まずは高齢者が接種できる体制確保を目指す

	総社市内 対象者	総社市の想定スケジュール (2021年)			
		1月	2月	3月	4月～
医療従事者 (全国1万人)	—	国が準備	体制確保	確保できたら接種へ	
医療従事者 (全国300万人)	約1千人	県が準備実施	体制確保	確保できたら接種へ	
総社市 (医療従事者除く)		総社市が準備	冷凍庫配備	体制確保	
高齢者 2万人	①・在宅 1万9千人 ①・入院入所 1千人	接種券の用意	郵送	体制確保	確保できたら 接種へ
高齢者 以外 4.9万人	②・基礎疾患 1千人 ②・介護職員 1千人 ③・その他 4万7千人	接種券の用意		郵送	体制確保
					確保できたら 接種へ

優先順位は国が検討中

総社市として一定の仮定をおきつつ具体的なスケジュールを設定

5. 接種場所・ワクチン流通

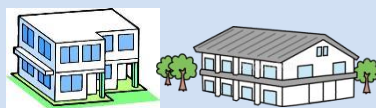
⇒集団接種 (公共施設) と個別接種 (医療機関) のハイブリッドを想定

冷凍：10日間まで
最少単位は約1,000回分保冷ボックスで運搬・保管
(ドライアイス)

メーカー・卸業者

総社市内
専用冷凍庫
1台-70℃冷凍：2か月程度
約5,000回分を保管可能各機関・施設
で冷蔵保管冷蔵：5日間まで
最少単位は5回分

【1】市内の公共施設での集団接種 (1～2か所)

➤ 集団接種の場合は、密になるリスク、
体調急変時の対応、暖房などが課題

〔施設の候補〕

保健センター、市民会館、県立大学、
サンロード吉備路、きびじアリーナ

【2】医療機関での個別接種 (一部の病院・診療所を指定)

➤ 基礎疾患のある方や、定期的な
外来患者の方などは、医療機関で
の個別接種を優先する方向で検討

【3】入院・入所中の方は施設内で接種

➤ 病院内の医師や外部の嘱託医に
よる対応を想定
➤ また、在宅医療の患者の方には、
在宅での個別対応を検討※ここでの記載はファイザー社
のワクチンを例にした想定※ このほか、ワクチンの対象年齢 (下限) の議論も見極めつつ、
こどもへの接種体制についてもあわせて検討していく。